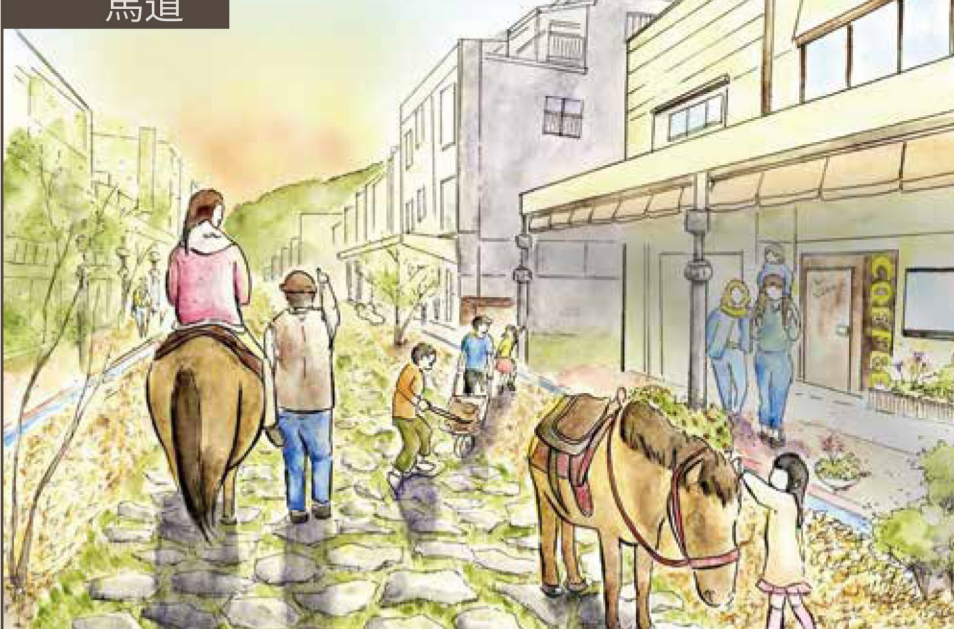


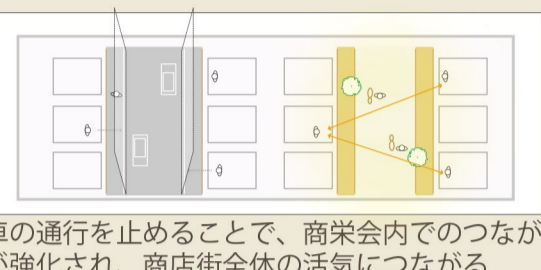
馬道



馬と人が歩き回る道 駅とリンゴ並木をつなぐ動線

■デザイン
飯田市街地の2つの商店街である中央通りと知久町通りを車が通らない道として整備する。

馬・歴史・自然を用いた飯田にしかない街路空間の創出



車の通行を止めることで、商業会内でのつながりが強化され、商店街全体の活気につながる

◆馬：舗装の一部をウッドチップにして馬が歩きやすいようにする。夜は車も通れるように道の中央は石の舗装にする。
7:00~18:00 は歩馬専用道路とする。
⇒歩きやすい空間、子どもやお年寄りにも優しい空間
車の通らない、子どもの遊び場としての空間
馬の不規則な動きに誘われて、商店街の中で思わぬ発見ができる。

◆歴史：馬の飲み水として御用水を通す。
⇒飯田の山と川に囲まれた歴史と自然を感じさせる空間

◆自然：人と馬を誘導するように飯田の山に自生する植物を植え、産業や環境と関連させて効果的に使う。

モミジ：水を好むため、馬道を流れる御用水のそばに植える。
クワ：通学中の子供が摘んで学校で飼うカイコのエサにする。
リンゴ：リンゴが好きな馬の足は、自然とリンゴ並木へ向かう。

⇒変化のある、奥へ歩きたくなるような街路
これらの植物は全て飯田産の産物となる。まちのいたるところで栽培される植物で染めた糸で四季折々様々な飯田産物が織られる。
飯田の人々はまちにかかる糸の色によっても季節を感じる事が出来る。

馬界線



人の生活の場となる道空間

■デザイン
防火帯として作られた幅1mの道、裏界線を馬が通る道として整備する。舗装は馬の歩きやすさを優先し、ウッドチップを敷き詰める。

■馬界線が人の生活の舞台となる
馬が商売や馬の家で積んだ商品を馬界線沿いに売り歩く。日常的に馬がゴミ回収や牛乳・新聞配達を行う。

■道と一体の新しい家「既建築」の提案

■既建築の特徴

- ◆飯田の山のナラの木材を利用 ◆ぼろボックスの設置 ◆うまど（馬窓）の設置
- ◆家の高さ6m以下 ◆背景の山に馴染む色 ◆馬界線に沿って建つ

条件にあった家を改装・新築する場合、地元の木材を無料で入手できる。（林業の一環として市が負担）



- ①馬窓様式：馬界線沿いに窓がついた建築。
- ②厩様式：厩が家の横についた建築。既存の家を飯田建築に改装するとき最も簡単。
- ③縁側様式：家の片側に縁側を置く建築。一人暮らしのお年寄りなどはこの様式を選択することで近隣コミュニティとの密な関係の中で生活できる。

■既建築のココが良い

- ◆防犯：家の裏に常に人の目がある
- ◆コミュニティ：隣近所の人の顔が互いに見えるやすく密な関係を構築できる。
- ◆利便性：馬界線を通れば必ず200m以内に馬の駅、300m以内にリンゴ並木がある。
- ◆景観：飯田建築が増えるに伴い、山への眺望や市街地全体としての景観が良くなる。
- ◆歩行空間：馬界線沿いに家が集まり、反対側の車道や馬道に豊かな歩行空間が生まれる。
- ◆人の誘導：半屋外空間で馬道と馬界線が繋がると、人が馬道から馬界線に誘われる。

馬の駅



つなぐ場所
人と馬の「まち歩き」と「地域」を支える歩行者用「道の駅」



■デザイン

古い蔵の改修や空き地の利用によって馬の駅を作る。
1階部分は馬の休憩場所及び、馬と触れ合う場所として、2階部分は人の活動拠点としてデザインする。

■人と馬をつなぐ
馬は馬の駅を定期的に移動する。馬の駅を利用していると、一定間隔で異なる商品を載せた馬に出会い、触れ合うことができる。

■人と人をつなぐ
馬の家では産業技術大学の生徒をはじめ、自分たちでのづくりがしたいという人たちが、飯田の技術を使って新しい製品を生産し、販売できる。観光客にとっては手軽に飯田の産物に触れられる場所となる。
商業用の馬は、飯田の商店コミュニティの単位である商売につき1頭利用できる。馬の家も、各商売会に対して1軒ずつ用意される。

普段生活の一部として使われる馬の家は、災害時には避難所となる。元々防火帯として作られた馬界線と合わせて、日常的に利用できる防災施設となっている。

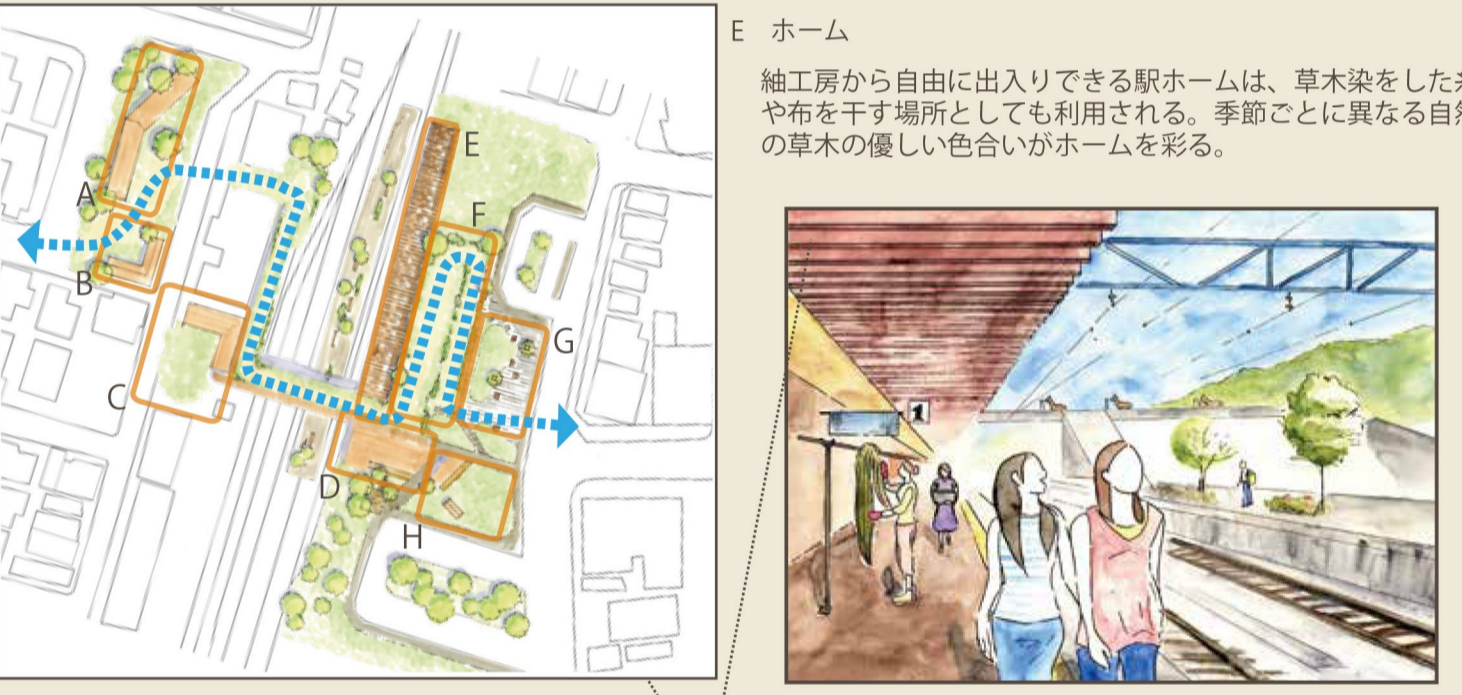
植栽はウメやヨモギなど、飯田の産物の一つである和菓子づくりに使う植物を近くに植える。

- 管理主体
- ◆飯田まちづくりカンパニー
 - ◆日本トッキング
 - ◆飯田市

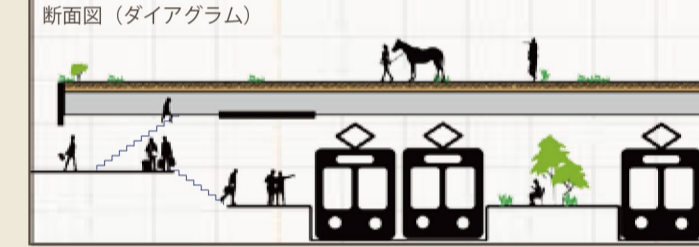
飯田駅周辺

馬道、馬界線、馬の駅の全ての機能を併せ持ち新しい飯田を象徴する駅舎と駅前空間

- A 厩舎
飯田で飼育されている馬が休み場所。朝はここから市街地へ向かい、夕方に戻る。
- B クラブハウス
馬をサポートするうまクラブの活動拠点。
- C 木材ストックヤード
馬が山から運んでくれた材木や草木染の原料となる植物を乾燥させ、保管しておく施設。
- D 袖工房
飯田の伝統工芸のひとつである袖をつくる工房を駅に設置。アクセスがよいので、市民が日常的に利用しやすく、訪れた人の体験活動の場にもなる。



E ホーム
袖工房から自由に入出力できる駅ホームは、草木染をした糸や布を干す場所としても利用される。季節ごとに異なる自然の草木の優しい色合いがホームを彩る。



- F 駅舎
駅舎の上からスロープで移動する馬がよく見える特等席。時には飯田の特産品が持ち寄られる賑やかなイベントスペースに様変わり。
- G 駅前広場
屋上は草屋根になっており、厩舎と市街地を結ぶ馬の通り。朝夕染めた時間に馬が線路の上を横切る風景は、時を知らせる飯田の名物となる。
- H 馬の駅
時間に合わせて馬が飯田の自慢の品を運んでくる。電車の待ち時間に立ち寄ってみれば、思わぬ出会いがあるかもしれない。

飯田の観光

駅に着くとちょうど電車が出発してしまっただけなのに、馬が乗った電車には、美味しいアップルパイを食べていたらあっという間に1時間。

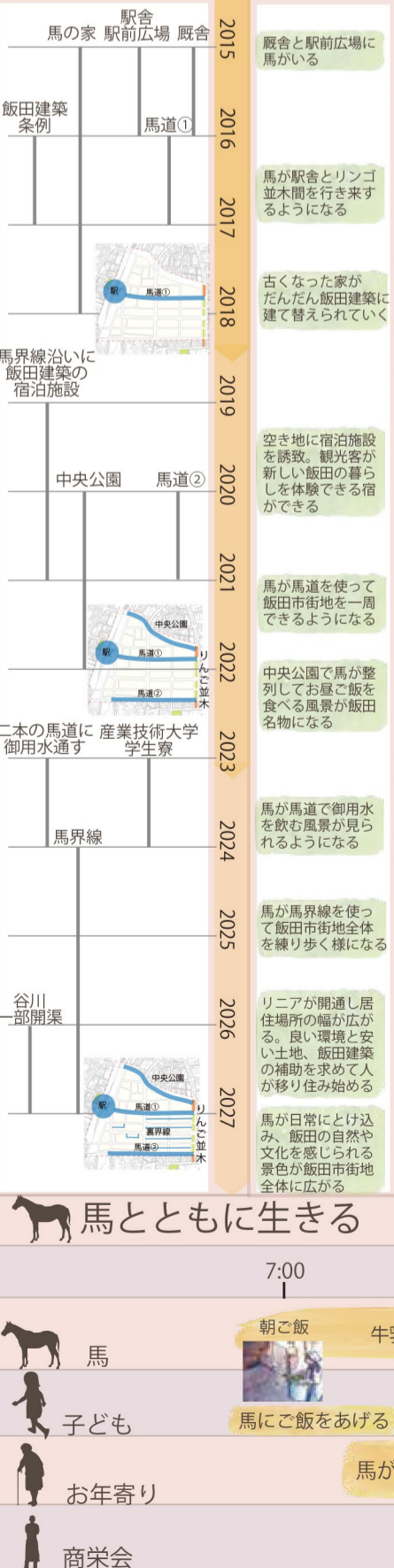
1時間
他の用事で飯田線に乗っていたけれど、途中駅で乗換して、飯田の光景、馬の姿、そして美味しいアップルパイ。自分でお手洗いまで行って、馬と触れ合ったり、リンゴを摘んで食べてみました。

2時間
お城まで来たけれど、駅を出ると、馬が乗った電車に乗って、馬の姿、そして美味しいアップルパイ。自分がお手洗いまで行って、馬と触れ合ったり、リンゴを摘んで食べてみました。

日帰り
飯田の山は樹木が豊富で美しいので、毎年登山に来ているが、今年は山で馬が乗った電車に乗って、馬の姿、そして美味しいアップルパイ。自分がお手洗いまで行って、馬と触れ合ったり、リンゴを摘んで食べてみました。

2泊
農業体験プログラムに参加。最初の仕事は馬の糞を運ぶのは、馬が乗った電車に乗って、馬の姿、そして美味しいアップルパイ。自分がお手洗いまで行って、馬と触れ合ったり、リンゴを摘んで食べてみました。

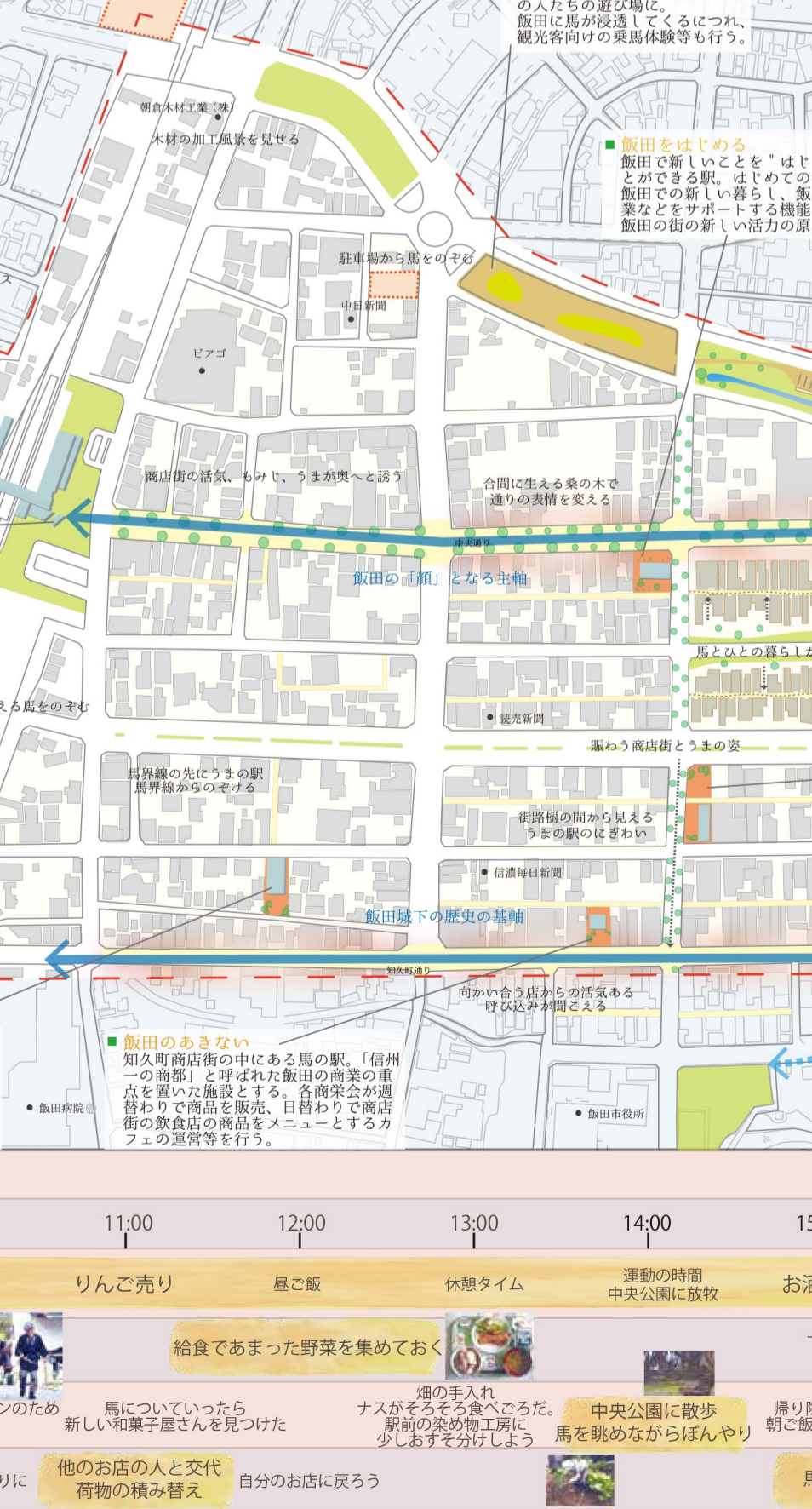
事業スキーム



展望

- うまセンター
駅裏の公園を馬の厩舎にする。PM18:00~AM7:00の時間に全ての馬がここに集まる。2021年の10頭を想定し、厩舎を整備する。
- 飯田でまっつ
駅前広場にある、電車を待つ友人を待てる、荷物を預けられる、お年寄りの交流を促す、お年寄りが安心して利用できるような施設を運営する。
- 飯田で長生き
役われない蔵をリノベーションして使う。お年寄りの交流を促す、お年寄りが安心して利用できるような施設を運営する。
- 飯田のあきない
知久町商店街の中にある馬の駅。「信州一の商店」と呼ばれる飯田の商売の中心を置いた施設とする。各商売会が連携して商品を販売、日替わりで商店街の飲食店の商品をメニューとするカフェの運営を行う。

全体平面図



馬とひとの遊び場
牧草地とすることで、エサを育てながら馬のいない時間はまちの人たちの遊び場に、飯田に馬が浸透して行くにつれ、観光客向けの乗馬体験も行う。

■飯田をはじめ
飯田で新しいことを「はじめ」ることができる駅。飯田での新しい暮らし、飯田での仕事をサポートする機能を整備。飯田の街の新しい活力の原点となる。

■馬のお昼と飯どころ
お昼には毎日全ての馬がここに集まり、一緒に馬と飯を食べる。食事の馬を見た後、一緒にお弁当を食べたりできるひろばである。

■飯田と馬を結ぶ
飯田での暮らしに色を添える。カフェや飯田の産物の販売に加え、馬の歴史、食生活、馬車体験の受付、ボロの管理、カフェでの提供を行う。

■飯田で暮らす
飯田の暮らしに色を添える。カフェや飯田の産物の販売に加え、馬の歴史、食生活、馬車体験の受付、ボロの管理、カフェでの提供を行う。

■飯田の自然
飯田の自然、農産物と深く関わった暮らし。馬と触れ合う、動物園から動物が遊びに来たり、扇町公園の参加型園遊会や、馬の産物の販売、カフェでの提供を行う。

馬とともに生きる



7:00 朝ご飯
8:00 牛乳屋に牛乳配達
9:00 商売会の馬ステ着
10:00 袖売り
11:00 りんご売り
12:00 昼ご飯
13:00 休憩タイム
14:00 運動の時間
15:00 中央公園に開放
16:00 お酒売り
17:00 新聞屋に夕刊配達
18:00 商売会の馬ステ着
よるご飯

馬
馬に一緒に登校
馬が運ぶ牛乳を窓辺で待つ
馬にご飯をあげる
馬と一緒に登校
飯田の輪理レッスンのため
馬についていたら新しい和菓子屋さんを見つけた
煙の入れナスがそろそろ食べごろだ
駅前の築古加工場に少しお散歩しよう
中央公園に散歩
帰り際に馬ステに寄って朝ご飯のリンゴジャム購入
馬が夕刊を運んでくるのに合わせて帰宅

子ども
馬にご飯をあげる
馬が運ぶ牛乳を窓辺で待つ
馬と一緒に登校
飯田の輪理レッスンのため
馬についていたら新しい和菓子屋さんを見つけた
煙の入れナスがそろそろ食べごろだ
駅前の築古加工場に少しお散歩しよう
中央公園に散歩
帰り際に馬ステに寄って朝ご飯のリンゴジャム購入
馬が夕刊を運んでくるのに合わせて帰宅

お年寄り
馬が運ぶ牛乳を窓辺で待つ
馬と一緒に登校
飯田の輪理レッスンのため
馬についていたら新しい和菓子屋さんを見つけた
煙の入れナスがそろそろ食べごろだ
駅前の築古加工場に少しお散歩しよう
中央公園に散歩
帰り際に馬ステに寄って朝ご飯のリンゴジャム購入
馬が夕刊を運んでくるのに合わせて帰宅

商売会
商売会の馬ステで馬に荷物積む
馬を連れて売りに
他のお店の人と交代荷物の積み替え
自分のお店に戻ろう
馬の駅の運営